

4 学年題材指導計画

ふしの感じのちがいをを見つけながら歌おう

(6 時間扱い)

1 . 題材のねらい

旋律の階名視唱や視奏に親しんだり、レガートやスタッカートなどに気付いたりして、表現のしかたを工夫できるようにする。

旋律の特徴を感じ取って、想像豊かに聴いたり表現したりすることができるようにする。

2 . 教材について

小学校学習指導要領

< 第 3 ・ 4 学年の内容との関連 >

(1) きらきら星 作詞 武鹿悦子 / フランス民謡

A (1) ア

A (3) ア

かすみか雲か 作詞 勝 承夫 / ドイツ民謡

4 年生の合唱の導入として扱うパートナーソングの一つ。伸びやかな旋律を生かし、歌声に気を付けて移調してふしを重ねて歌ったり交互に入れ替えて歌ったりしながら、合唱遊びを通して互いの声を聴き合いながら歌うことに慣れさせたい。

(2) さくら さくら 日本古謡

A (2) イ

日本の旋律として独特の味わいを感じ取ることのできる曲。ゆったりとした速度で、レガートに歌うことがふさわしいことに気付かせ、歌詞の切れ目やフレーズのまとまりで息づきをすることの大切さに気付き、伸びやかに歌うようにしたい。

(3) ゆかいに歩けば 作詞 保富康午 / 作曲 メラー

A (2) イ

A (3) ア

前半はスタッカートを生かしたりズミカルな曲想をもち、後半は伸び伸びとした雰囲気ですでに高まりながら曲の山をつくっている。前半と後半の曲想の違いを感じ取り、歌い方を工夫する学習を展開するようにしたい。また、「とんび」のレガートな曲想と対比させ、旋律の抑揚や変化、滑らかな感じと歯切れのよい感じなどの特徴に気づかせていきたい。

A (1) イ

(4) とんび 作詞 葛原しげる / 梁田 貞

A (2) イ

A (3) イ

B (1) イ

歌詞の表す情景と旋律の流れが一体となり、伸び伸びとした曲想が感じられる楽曲。旋律の流れや歌詞の内容から情景を思い浮かべ、「さくらさくら」と同様、レガートに歌うことがふさわしいことに気付かせるとともに、「ゆかいに歩けば」と対比させながら表現の仕方を工夫するようにしたい。

3.題材の評価規準

Aと判断する子どもの姿

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	旋律の特徴や楽曲の気分に関心をもち、進んで聴いたり表現したりしようとしている。	旋律の特徴を感じ取り、聴いたり表現の仕方を工夫したりしている。	八長調の読譜に親しむとともに、旋律の特徴を生かし、柔らかい声で歌っている。	曲想を感じ取りながら、友達の表現のよさや美しさに気付いて聴いている。
学習活動 における 具体の 評価 規準	<p>美しい範唱や友達の演奏をよく聴き、柔らかい声で歌おうとしたり進んで自分の歌い方に生かそうとしたりしている。</p> <p>集中して聴き、そのよさを吸収しようとする姿勢</p> <p>よりよい演奏を目指し、繰り返し練習</p> <p>旋律の特徴や曲想の変化に関心をもち、進んでアイデアを出したり友達と協力して歌い方を工夫しようとしたりしている。</p> <p>なめらかな旋律の特徴を生かす歌い方をグループの友達に積極的にアドバイス</p> <p>なめらかな歌い方のよさに気付き、進んで場所を移動し練習</p> <p>よりよい表現に近づけるよう繰り返し練習</p> <p>グループ活動がスムーズになるような声掛け</p>	<p>なめらかな感じやはずむ感じの曲想を感じ取って、歌い方を工夫したり身体表現をしたりしている。</p> <p>旋律の特徴について気付いたことを進んで発表</p> <p>旋律の特徴を数多く記入</p> <p>拍の流れを感じ取った体のゆれ</p> <p>なめらかな感じを生かした身体表現</p> <p>息つきやフレーズのまとまりを常に意識し、レガートな歌い方</p> <p>旋律の感じに気付きながら、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。</p> <p>旋律の感じを生かすために、息つきやタンギングを工夫</p> <p>フレーズのまとまりを意識し、工夫しながら演奏</p>	<p>自分の持ち味を生かして、自然で無理のない声で、伸びやかに歌っている。</p> <p>常に歌声を意識</p> <p>のびのびと、柔らかな歌声</p> <p>拍の流れやリズム、音程、発音などに気を付けて、主旋律を正確に歌うことができる。</p> <p>正確な音程</p> <p>明瞭な発音</p> <p>旋律の特徴を生かし、レガート奏法に気を付けて、楽器を演奏することができる。</p> <p>息つきやまとまりを意識し、安定したレガート奏法</p>	<p>友達のなめらか・はずむ感じの違いや曲の山の表現のよさを感じ取りながら友達の演奏を聴いている。</p> <p>曲想の特徴をとらえ、友達の演奏の工夫を感じ取っている</p> <p>よさを友達に進んで伝達</p>

4. 指導と評価の計画 (6時間扱い)

: 取り扱い項目

: 取り扱い重点項目

	学習活動	題材の 評価規準	指導要領 との 関連	内容の まとめり				評価方法
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1	<p>旋律の特徴を感じ取りながら,パートナーソングを歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きらきら星」の主旋律を歌う。 ・「かすみか雲か」の主旋律を歌詞唱する。 ・2曲の曲の感じについて発表し合い,曲想を感じ取って歌う。 ・歌いたい曲を選び,交互唱したり二つのふしを重ねたりして,伸びやかに歌う。 ・互いの演奏の良さに気付き,響きのある歌声の出し方に気を付けて歌う。 	<p>ア -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(1)ア</p> <p>A(3)ア</p>					<p>発表</p> <p>顔の表情</p> <p>行動観察</p> <p>演奏聴取</p>
2	<p>範唱を聴いて,曲の特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」「ゆかいに歩けば」の演奏を聴き,気に入ったところや曲の感じについて感想を発表し合う。 主旋律を歌う。 ・主旋律を歌詞唱したり“ラ”で歌ったりしながら,跳躍音,順次下降の音程,スタッカート,言葉やフレーズのまとめりによるブレスなどに気を付け,正しく歌えるようにする。 ・旋律の感じを生かして伸び伸びと歌う。 	<p>イ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(2)イ</p> <p>A(3)ア</p>					<p>発表</p> <p>学習カード</p> <p>演奏聴取</p>
3	<p>これまでの曲想の違いの学習を生かしながら,範唱を聴き,曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とんび」の演奏を聴き,曲全体の感じや旋律の特徴など,音楽的な表現の特徴について気付いたことを発表し合う。 主旋律を歌う。 ・「ゆかいに歩けば」と「さくらさくら」の旋律の感じの類似点や相違点を見つけ合う。 副次的な旋律を楽器で演奏する。 ・副次的な旋律の部分を読譜する。 ・テンポ感,なめらかな旋律感,拍の流れに気を付けて,表現の仕方を工夫する。 	<p>イ -</p> <p>イ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A(2)イ</p> <p>A(2)イ</p> <p>A(3)イ</p>					<p>発表</p> <p>歌唱発表</p> <p>演奏聴取</p> <p>学習カード</p>

4	<p>旋律の感じを生かして、「とんび」の演奏の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なめらかに歌うように気を付けて，主旋律を歌う。 ・旋律の特徴を生かした表現をグループごとに工夫する。 ・グループごとに，なめらかな旋律を表現するために気を付けたところを発表する。 ・曲の山，繰り返しの部分，3段目の歌い方を工夫する。 	イ -	A(2)イ					歌唱発表 演奏聴取 発言 (グループ) 学習カード 演奏発表 感想発表
5	<ul style="list-style-type: none"> ・強弱やクレシェンド，テンポなど，工夫できることについて意見を出し合い，それぞれの旋律の感じや歌詞の内容にも気を付けているいろいろな歌い方を試す。 ・よりよい表現になるよう，自分たちで決めた歌い方で練習する。 ・自分たちが決めた歌い方を発表する。 	ア -	A(2)イ					
6	<p>発表のための準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したことを生かしながら，通して練習する。 ・発表会を開催する。 ・それぞれの工夫を発表し合い，お互いの演奏のよさを見つけ合う。 ・旋律の感じを生かして，歌い方や演奏の仕方を工夫し，2曲を伸び伸びと歌う。 	エ -	B(1)イ					行動観察 発言 (グループ) 発表聴取 感想発表 感想カード